

平成 29 年度 事業報告

1. 保育方針

1. 銀杏ヶ丘こども園の理念・方針・目標を理解する。

●法人の理念（事業運営方針）

- ・私たちは奉仕の精神を基本に事業運営を行うことで社会に貢献します

●銀杏ヶ丘こども園の理念（運営理念）

- ・園児の最善の利益を尊重し、心身共に健やかに育てます。
- ・家庭と緊密な連携を図り、発達過程を踏まえ、適切な環境を提供しながら養護及び教育を一体的に行います
- ・地域社会と連携し合い、園内外の子育て家庭への支援を行います。
- ・専門的な知識・技術及び判断をもって、園児の保育と保護者への支援を適切に行います。

●(保育の理念)

子ども心に寄り添い 保育の輪を広げます

子どもの最善の利益を保障し、家庭や地域と共に子育ての楽しさを共有していきます

① 基本方針

「豊かな人間性を育て、生きる力の基礎を培う」ことを目的とし児童の最善の利益を保護すると共に、保護者のニーズに応えた園の運営であり、地域の子育て支援の拠点施設としての役割を担う。

- ◆教育・保育の提供を行い豊かな人間性が育つためにふさわしい生活の場を実現する。
- ◆保育の専門的知識と技術及び判断を以って、子どもの健康・安全
 - ・情緒の安定を図り、自主性と生活力の発達を促す保育実践に努める。
- ◆子育て支援の視点から、必要性に応じて保育に関する相談・助言に努め、社会的役割を果たす。

② (職員行動指針)

- ・子どもの心に寄り添った保育を行う
- ・生活や遊びの中から学びがあることを理解し、環境づくりを行う
- ・子どもを中心に置き、家庭や地域との繋がりを大切にしてい

③ 保育目標

- ・健康でいきいきとした子ども
- ・仲良く遊べる子ども
- ・情緒の豊かな子ども
- ・言葉を豊かに正しく使える子ども
- ・創造する子ども
- ・意欲的に取り組む子ども
- ・良く見つめ考えて行動する子ども

2. 年間行事予定とねらい

月	行事	行事のねらい
年間の概要	・自然に親しむ活動の充実を図る。 ・体力づくりに努め、心身が発達していく。 ・食に親しみ、意欲に繋げる。	・自然に親しみ、豊かな感性を培う ・心と体で感じ取れるような体験をもつ ・食に興味や関心が持てる場を設定できるよう工夫する ・地域と協働し参加型保育活動を通し児童と地域交流の場を持つ
4	・入園式	・集団の一員となったことを自覚させると共に、その喜びをみんなで祝う。 ・保育者と親しみ、友達との繋がりを広げていく
5	・保育参観・保護者会	・保護者と子どもの成長を伝え合い共に子育ての楽しさを共有する
6	・親子遠足	・自然に親しみ、開放的な雰囲気の中で、豊かな感性を培う
7	・夏のタベ ・七夕まつり	・地域の方々と交流し、行事や活動に期待感をもって参加する ・自然事象や栽培などに興味・関心を持つ
8	・親子クッキング ・就学連携交流会	・親子の交流を深め、楽しみながら食育に親しむ ・就学へ期待感を持ち、交流を楽しむ
9	・小遠足	・自然の変化に気付き、自ら興味を持って関わる ・行事練習で意欲的に参加し、頑張る事で自信をつけていく
10	・運動会	・運動会に期待感を持ち積極的に参加する ・友達と一緒に活動を楽しむ
11	・野菜の収穫祭	・食を意識し、収穫を喜びながら食への関心を深める。
12	・お遊戯会 ・クリスマス会	・友達と一緒に活動を楽しみ、共感しあいながら気持ちを言葉で伝え合う
1	・餅つき会 ・カルタ大会	・伝承遊びを楽しみ、遊びの中に取り入れて行く ・冬の生活の仕方を知り健康的に過ごす ・遊びながら文字への興味を持つ
2	・豆まき会 ・雪上カルタ会 ・なわとび会・保育参観	・寒さに負けず体を思い切り動かし冬の遊びを楽しむ
3	・一日入園 ・お別れ会 ・卒園式	・進級に向け期待感を膨らませながら行事へ参加する ・友達との繋がりを深め相手を認め合うことを知る

その他

- ・避難訓練・安全教室(年 12 回) ・不審者対策訓練 (年 4 回) ・絵本の貸し出し(毎週)
- ・親子クッキング(年 3 回) ・クラス別食育教室(年 3 回) ・絵本の読み聞かせ会(年 2 回)
- ・誕生会試食会(年 12 回) ・個別面談(全園児対象) ・年長児テーブルマナー教室(2 月)
- ※4.5 歳児対象・・・英会話教室(アレク kids 講師) ・スイミング教室(五所川原ウィング)
- ※夏に保護者も交え、救急救命法の講習を行う。

3. 教育・保育の内容(デイリープログラム)

時間	3号児童			2号児童	1号児童
	生後57日 ～7か月	7か月～ 1歳未満	1歳児～2歳児	3.4.5歳児	
7:00～	・順次登園 ・保育教諭による健康観察・検温 ・持ち物の確認 ・異年齢保育		・順次登園 ・保育教諭による健康観察・検温 ・持ち物の確認 ・異年齢保育	・順次登園 ・保育教諭による健康観察・検温 ・持ち物の確認 ・異年齢保育	・預かり保育
9:00～	・オムツ交換 ・触れ合い遊び ※ミルク・睡眠・おやつは月齢や発達に合わせて対応		・うた・体操・リズム遊び ・消毒・おやつ ・排泄・オムツ交換 ・朝の会・出欠・挨拶・歌	・うた・体操・リズム遊び ・排泄・手洗い・うがい 朝の会・出欠・挨拶・歌	
10:00～			・一斉活動 ・カリキュラムに沿って活動を行う (・遊戯・伝承遊び・散歩・ままごと・ブロック・お絵かきなど) ・片付け ・オムツ交換・排泄・手洗い	・一斉活動 ・カリキュラムに沿った教育時間(3歳児・4歳児・5歳児合同クラス) ・スイミング・英会話・製作・文字のお稽古・マラソン・戸外遊び・自由散策・畑づくり・合奏・鼓笛隊活動等 ・片付け	
11:00～	・オムツ交換		・給食準備		
11:15～	・ミルク・睡眠	・給食準備 ・離乳食・哺乳	・離乳食・哺乳 ・歯磨き ・活動(絵本・リトミック人形遊びなど) ・オムツ交換・排泄・手洗い	・排泄・手洗い・うがい ・給食準備・絵本 ・給食を食べる(食育に関する知識を深める・体力づくり・生活習慣) ・歯磨き・うがい	
12:30～	※月齢や発達に合わせてミルク・睡眠の対応		・午睡準備 ・午睡	・活動(戸外遊び・絵本・積木遊び・自然散策など) ・排泄・手洗い・うがい ・午睡準備・午睡	・カリキュラムに沿った教育活動(3.4.5歳児合同) ・降園準備
14:30～	・起床・オムツ交換・排泄 ・検温		・起床・オムツ交換・排泄 ・検温	・起床・排泄 着替え・絵本	・順次降園 ・預かり保育
15:00～	・活動(触れ合い遊び・音楽・手遊び・散歩など)		・おやつ ・帰りの会 ・降園準備	・おやつ	
15:30～	・順次降園		・順次降園 ・活動(積木・絵本・マット遊びなど)	・順次降園 ・活動(リトミック・大型ブロック等)	
16:00～	・異年齢保育 (お絵かき・絵本・リトミック・粘土・ままごと・ブロック・戸外遊びなど) 年齢に合わせてオムツ交換・排泄・検温				
17:30～	・順次降園 ・おやつ				
19:00	閉園				

4. 教育・保育を実施する日時間等

教育・保育を実施する日	1号認定子ども(月～金)	2.3号認定子ども(月～土)
教育時間	9:00～13:00	
教育・保育時間		7:00～18:00
一時預かり時間	13:00～18:00 (土曜日 8:00～17:00)	
延長保育時間		18:00～19:00

※休園日・・・日曜日・祝祭日・年末年始(12月29日～1月3日)

7・職員会議・ケース会議・給食会議

- イ、職員会議 年12回 ロ、ケース会議 3回 ハ、給食会議 年12回
 ニ、その他の会議(発達支援会議・子育てケア会議・主任検討会議・幼保小連携会議)
 ホ、新規採用職員園内マニュアル勉強会(年3回)
 ヘ、園内研修 年8回の予定(コンサルタントや専門機関の巡回相談は随時連絡調整)

平成29年度 研修・会議報告

実施月	園内研修年間予定	参加者
4月	・発達検査 PEP-3 (対象児:1人) 個別支援計画書作成・保育実践検討会	・担当2名
5月	・専門機関巡回指導・コンサルタント会議年中組 ・専門機関との連携会議(就学へ向けての支援) ・園内講演会:テーマ(離乳食の栄養について)栄養士来園 ・新規採用職員園内マニュアル勉強会	・コンサル2名 ・担当者2名 (対象:保護者) ・対象職員3名 ・担当職員2名
6月	・園内勉強会①(安全対策)テーマ:ヒヤリハット対策 ・ケース会議(対象児6人)個別支援計画作成	・全職員参加 ・全職員参加
7月	・園内研修会①(保健衛生) 学校薬剤師助言:「アレルギー対応と園内体制づくり」	・研修担当者2名 ・全職員参加
8月	・園内個人面談検討会議 ・園内勉強会②(幼児教育):研修報告及び演習 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領改訂のポイント」	・全職員参加 ・全職員参加
9月	・前期まとめ報告会 ・園内経過観察記録表についての検討会議	・担当者2名 ・全職員参加
10月	・ケース会議(対象児6人) 個別支援計画作成 ・園内勉強会③(障害児保育)(保育実践) :研修報告及び演習② ・専門機関巡回指導・コンサルタント会議 年中組 個別支援計画書作成 ・園内研修会②:「子どもの感染症について」 講師/学校薬剤師	・全職員参加 ・コンサル2名 ・担当者2名 ・全職員参加
11月	・専門機関巡回指導・コンサルタント会議 年中組 ・園内勉強会④(乳児保育):研修報告 ・発達支援会議 年長組・年少組 ・幼保小連携会議	・コンサル2名 ・担当者2名 ・全職員参加 ・専門機関2名・保健師 ・保護者・特別支援教諭 ・担当職員 3名 ・担当職員 3名
1月	・園内勉強会⑤(保健衛生):研修報告及び検討会 テーマ 「小児の生活習慣病について」	・全職員参加
2月	・ケース会議(対象児6人) 個別支援計画作成 ・園内勉強会⑥(乳児保育・幼児保育) 「遊具の年間カリキュラムについて」 新年度のモデル児についての報告	・全職員参加 ・担当者4名
3月	・園内勉強会⑦(幼児教育):研修報告及び演習 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領改訂について」 ・次年度のまとめ、次年度の方向性などの検討会	全職員参加

※年間数回の園内研修あり

※つがる市民間保育所連合会主催の研修会は全職員参加

※県外への研修会の参加者(年3回)は報告勉強会を別枠で調整

8・健康診断(園児・職員)

- イ、 園児・・・内科医・歯科医による検診 年2回 (4月と10月)
ぎょう虫検査・発達検査・発達曲線相談等は必要に応じて随時
身体測定・頭囲測定・(毎月)・フッ素うがい(毎日：年長児対象)
- ロ、 職員・・・県保健センター巡回総合健診・インフルエンザ予防接種(毎年)
- ハ、 学校薬剤師による環境調査(水質調査、照度、騒音レベルの検査、プール・砂場検査)

9・給食・食育計画 (指導計画別紙参照)

行事食を多く盛り込み、手作りおやつに関しても毎月の盛り込み食育に力をいれていきたい。また、自園で採れた野菜なども子ども達と収穫し、旬の野菜や栄養素についてもしっかりと伝えていきたい。

- イ、 給食献立の玄関展示
- ロ、 自園調理献立表配布
- ハ、 親子クッキング
- ニ、 給食試食会(毎月)
- ホ、 自園畑の野菜の栽培(スイカ・ジャガイモ・枝豆)収穫・観察
- ヘ、 食育教室・人気メニューレシピ配布・離乳食取り分け法(子育て支援)
- ト、 給食会議・検食

10・園だよりの綴りのおり

11・備品・遊具等購入、建物修繕

- イ、 施設機能強化加算などを利用し、防火カーテンを購入
- ロ、 子育て支援拠点事業を行う為の環境遊具・園庭固定遊具を購入予定。
- ハ、 駐車場の修繕・改修。
- ニ、 調理室裏の壁の老朽化による修繕。
- ホ、 玄関入り口看板と道路沿い看板の修繕
- ホ、 乳児室の修繕により、未満児の快適な環境を確保。

12・苦情処理対応・災害時緊急連絡等

(重要事項説明書に記載)

13・その他

- ・平成29年度より認定こども園へ移行。
- ・定員を70人定員認可。(1号認定5人、2.3号認定65人)
- ・子育て支援年間計画別紙。